

CLASSE

取扱説明書
Delta STEREO
2chアンプ

目次

Classéファミリーへようこそ	3
開梱と設置	4
本機の特徴.....	6
フロントパネル	7
リアパネル.....	9
設置	14
CAN-Busについて	16
お手入れ.....	19
トラブルシューティング.....	20
仕様	22
寸法	24

Classéファミリーへようこそ

Classéアンプをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
本機はClasséの長年の設計経験の成果でありますので末永くご愛用ください。

ご登録の際、シリアル番号を記録しておいてください。

設置に関して

本機は他のアンプと同様に熱を発生させ、冷却ファンによって熱を放出します。

設置する際は冷却ファンの換気を妨げないようにご注意ください。

部屋の大きさや形状、室内の音響特性、本機と共にお使いになる関連機器などがシステムの性能に影響を与える可能性があります。

システムの設置と調整はClassé販売店に依頼されることをおすすめします。

開梱と設置

開梱 慎重に梱包を開き、すべての付属品を箱から取り出してください。本機は非常に重いので持ち上げて移動する際はご注意ください。特に製品の右前コーナー近くに重量が集中していますのでご注意ください。



重要! 修理を依頼されるときのために、梱包材は保管しておくことをおすすめします。専用の梱包材以外の物を使用して製品を輸送すると、保証対象外の損傷の原因になることがあります。



重要! VUメーターには保護フィルムが貼られています。保護フィルムを剥がすときの帯電作用により、VUメーターの位置が零点から動く可能性があります。保護フィルムはゆっくりと剥がしてください。もしVUメーターが動いたときには、付属品の帯電防止ワイブを使用して静電気を除去できます。帯電防止ワイブでVUメーターのクリアパネル表面を軽く拭いてください。

付属品 電源コード(本機専用)、ショートピン(XLR入力端子取付け)、モノラルケーブル、CAN-Busターミネーター、USBメモリー(取扱説明書)、Staticide Wipes(静電気除去シート)、安全にお使いいただくために、安全に関する重要な注意事項

設置 一般的にアンプはラックに設置しますが、棚、キャビネット、スピーカー近くの床にも設置できます。

いずれに設置しても、本機からの電磁界の影響を受けやすい機器は十分に離して設置するようご注意ください。

本機のACコードは接続ケーブルと十分離してください。近づけるとノイズの原因となります。
また、すべての接続ケーブルがストレスなく配線できるよう、本機後方に15cm以上の空間を設けることをおすすめします。

本機の温度 本機の温度についての注意事項:

本機には、温度が低すぎる場合に電源が入らないようにする回路が内蔵されています。本機が寒い日に配達された場合には、ACコードの電源プラグをコンセントに挿す前に室温に慣らしてください。

換気 本機は、通常の操作の過程で一定量の熱を発生させます。本機には熱放出用のファンが内蔵されています。そのため、本機周囲の空気の流れを遮る可能性がある場所への設置は避けてください。
本機の前方と上方に5cm以上の隙間を空け、本機の後方に15cmの隙間を空けて、ファンの冷却作用が適切に機能するようにします。本機をキャビネットに設置する場合は、本機リアパネルのファン排気部とキャビネット側の壁に10cm x 10cm以上の開口部を設けてください。

カスタム設置 カスタムキャビネットへ設置するために図面が記載されています。(巻末の寸法図をご参照ください。)詳しくは、Classé販売店までお問い合わせください。

シリアル番号 本機のシリアル番号は、リアパネルに記載されています。
お問い合わせの際はこの番号をご連絡ください。

動作電圧 本機の動作電圧は、リアパネルに記載されています。
異なる電圧のAC電源に本機を接続しないでください。



警告: 本機にはユーザーが修理可能な部品はありません。
不具合が発生した場合には、Classé販売店にお問い合わせください。

本機は通常の15Aまたは20AのAC電源から電源を供給します。その他の装置も同じAC電源から電源を供給される場合は、その分の追加電力消費量も考慮してください。

本マニュアルをお読みください 本機をご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をお読みください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。

本機の特長

高度に洗練された回路設計

Classéアンプは高品質の部品で実装され、当社の先進技術を使用しています。厳選された部品、およびクラスAの動作領域と結合した回路レイアウトとの組み合わせは、あらゆる条件下で優れたパフォーマンスを実現します。

低インピーダンス負荷に大出力を供給し、オーディオ帯域全体で極めて低歪率を実現し、特に高い周波数でも低歪のスペックを維持します。その結果、リスナーを疲れさせない魅力的なサウンドを実現し、何時間でもリスニングを楽しむことができます。

試聴テスト

ワールドクラスの製品は優れた音楽特性の測定性能が評価されており、Classé製品もそれを実現しています。

しかし、技術が卓越しているだけではベストな結果には結びつきません。このため、すべてのClassé製品は開発プロセス中、厳しい試聴テストにより入念に調整されます。

お客様の期待にお応えして、慎重な試聴テストなど、確かな技術を補う工夫をおこなっています。

保護回路

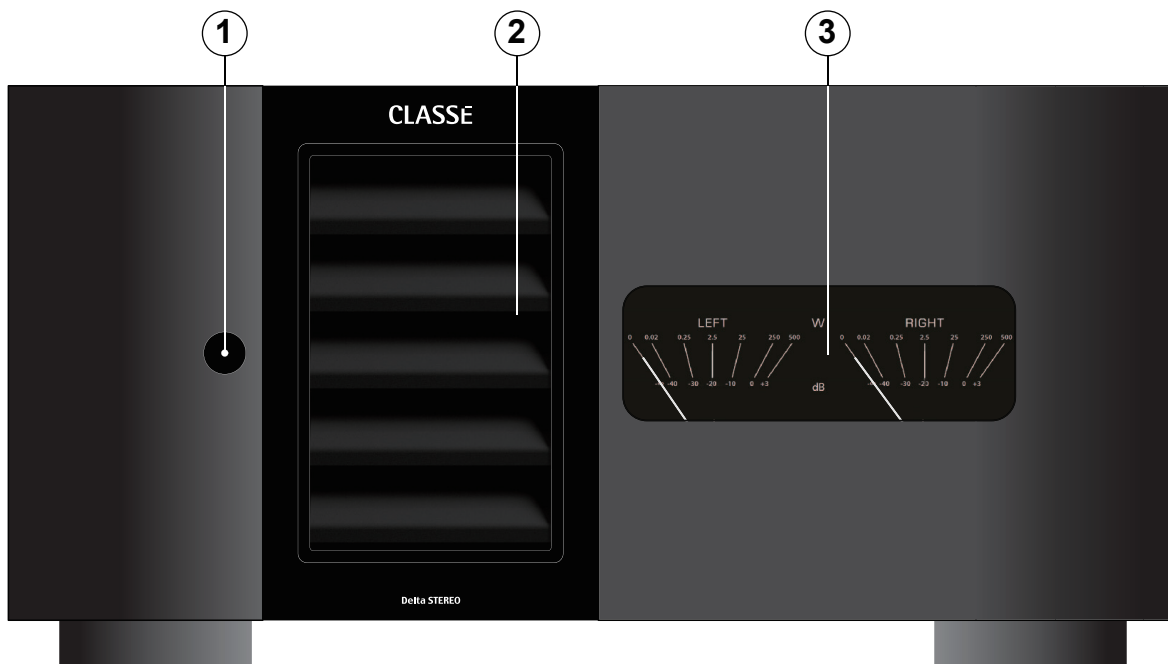
本機には、さまざまな保護回路が内蔵され、アンプとスピーカーの故障を防止するように設計されています。

これらの保護回路は本機に異常が起きたときに動作します。

次のときに保護回路が動作します：

- 長時間大出力での使用、および回路のショート
- DCオフセット
- 機器内部の温度が上昇したとき

DCオフセットなど、本機で自動的に修正される場合もありますが、本機自体のスイッチが切断されることもあります。その場合には、不具合が修正されるまでステイタスLEDが赤色に点滅します。本機は電源ボタンを5秒以上長押しすると、リセットされます。



フロントパネル

1 電源ボタン/ステータスLED

電源ボタンは、本機の電源をオン/オフ(スタンバイ)します。

本機の状態は、**ステータスLED**で表示されます。電源の状態によって次のように点灯します。

- | | | |
|-------------|---|--------------|
| ・ 赤色(点灯) | = | スタンバイ |
| ・ 緑～白色(点灯) | = | 初期化 |
| ・ 白色(点灯) | = | 操作 |
| ・ 赤色(点滅) | = | 保護回路作動 |
| ・ 緑色(点滅) | = | Can-Bus識別モード |
| ・ オレンジ色(点滅) | = | アップデート時エラー |

電源をスタンバイ状態にしても、一部の回路は通電しています。

長期間本機を使用しない場合には、ACコードの電源プラグをコンセントから抜くことをおすすめします。

また、雷発生時にもACコードの電源プラグをACコンセントから抜くことをおすすめします。

自宅の近くで落雷が発生すると、AC電源に大電流が流れる可能性があります。適切に設計、保護されていますが、故障の原因となることがあります。



注意!

ステイタスLEDが赤色に点滅している場合は、保護回路が動作している可能性があります。
各接続が正しいかどうかを確認してください。正しく接続されている場合は、電源ボタンを長押しして本機をリセットしてください。本機がリセットされない場合や、再び保護回路が動作する場合は本機の故障とも考えられます。電源コードを抜きClassé販売店までご連絡ください。

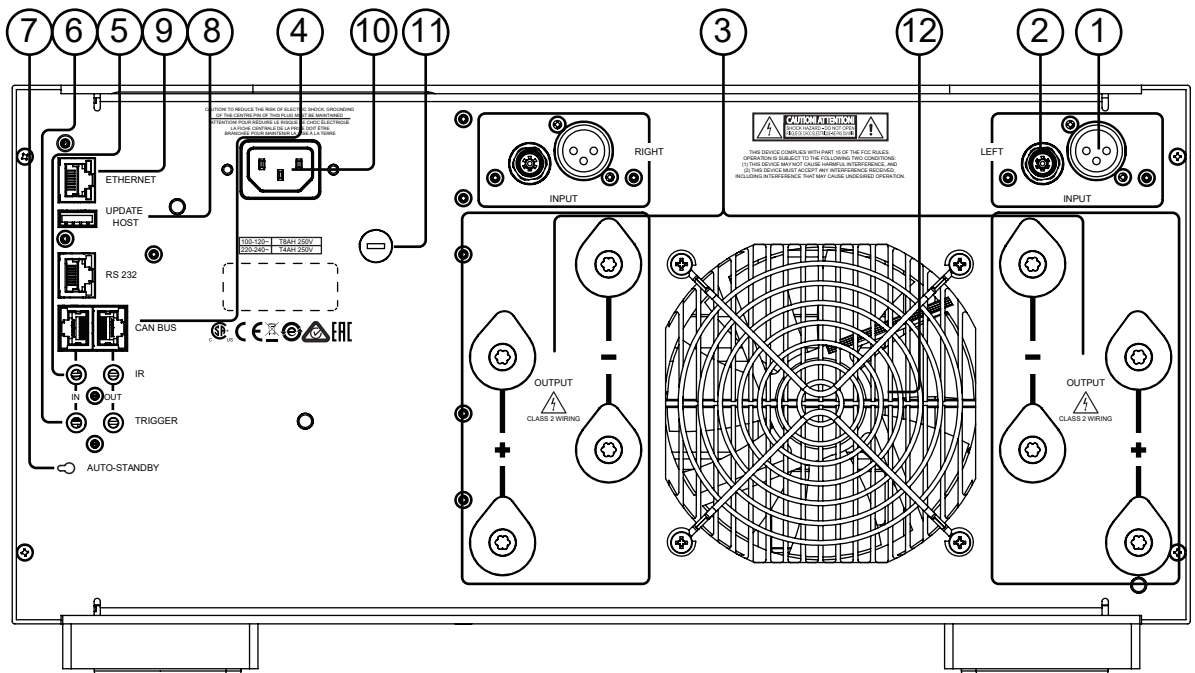
2 ICTunnel™ 吸気口

インテリジェント冷却トンネルは、冷気をフロントパネルの吸気口に引き込み、本機を冷却します。冷却システムの動作を最適化するために、フロントパネルの吸気口周辺の障害物を取り除いてください。

3 VUメーター

VUメーターは、スピーカーインピーダンス8Ω時の出力をワット及びdBで表示します。目安として、VUメーターの針がセンターから左側にある時、アンプはクラスAで動作しています。

VUメーターのバックライトは輝度レベルを3種類、またはオフに調整できます。輝度レベルを調整するには、アンプをスタンバイにしてスタンバイボタンを約5秒間長押しすることによりバックライトの輝度レベルが切り替わります。
希望の明るさの時にボタンを離します。



リアパネル

1 バランス入力(XLR)

バランス接続は、信号の強度を2倍にし、潜在的なS/N比を6dB上げます。また、コンポーネント間のノイズを除去し、干渉を低減させる特徴があります。

XLR入力コネクタのピン配列:



ピン1: 信号用GND

ピン2: HOT(正位相)

ピン3: COLD(逆位相)

コネクタ接地ラグ: シャーシグラウンド

XLR入力端子のピン配置はAudio Engineering Society(AES 14-1992)で採用されている規格に対応しています。

Classéプリアンプ/プロセッサとともにClasséパワーアンプを準備してください。付属のショートピン(ピン1と3の間)をアンプのXLR端子から取り外し、バランスケーブルを接続します。

Classéブランド以外のプリアンプまたはプロセッサをご使用の場合は、その取扱説明書を参照し、出力コネクタのピン配置が本機と一致しているかどうか確認してください。

Classé製品はヨーロッパ方式の2番PINがホットです。USA方式の3番PINがホットのプリアンプをお持ち場合は出力側の2番PINと3番PINを差し替えたケーブルを用意ください。

2 アンバランス(RCA)入力

オーディオ製品で使用されているアナログ接続の中で最も一般的なものは、アンバランス (RCA) 入力端子に対応したアンバランス接続ケーブルです。

高品質のアンバランス接続ケーブルを使用することにより、より高いパフォーマンスを発揮します。

Classéはパワーアンプのアンバランス (RCA)入力回路の性能向上に力を注いできました。

アンバランス (RCA)入力を使用する場合: ノイズの影響を低減するために、必ずショートピンをXLR端子のピン1と3の間の所定の位置に挿入してください。

3 スピーカー出力

本機は市販されているスピーカーのインピーダンス範囲に対応するよう設計されています。

Classé販売店では、お客様のスピーカーに適したアンプをアドバイスいたします。アンプの台数についてのご相談も承ります。

本機の各チャンネルは、2組の高品質な**5ウェイバイディングポスト**を備え、バイワイヤリング接続が容易にできます。

コネクタはロジウムメッキ銅で、トルクガード機能をつけて設計されています。スピーカーのワイヤコネクタと接続する時には、コネクタの締め付けすぎを防ぎ、コンタクト部の適正な締め付けトルクを守ります。

適切に締め付けると規定トルクに達し、トルクレンチのようなクリック音がします。

バイワイヤリング接続は、対応スピーカーにアンプの各チャンネルと、2セットのスピーカーケーブル(できれば同じケーブル)を接続する方法です。

バイワイヤリング接続には、スピーカーからの音の透明感や繊細さが増す効果があります。

(高品質スピーカーには、接続端子に低域と高域があります。一つは、スピーカーのクロスオーバーネットワークにより低域信号に接続する端子です。もう一つは、クロスオーバーにより中高域信号に接続する端子です。)

本機のバイディング ポストは裸線接続に対応していますが、スピーカーワイヤー端に圧着された高品質のスペードまたはバナナを使用することをおすすめします。

高品質の端子を使用することにより、裸線のほつれや酸化により接続が損なわれることを防ぎます。また、接続不良によるショート防止にも役立ちます。

4 Classé CAN-Bus制御ポート

RJ-45端子により、本機がサポートするController Area Network(CAN) Bus機能を通信制御します。

5 IR入出力

2つの1/8インチのミニモノジャックで本機のIRリモートコントロールが可能です。

本機は、DC 5VのIRコマンドに対応するように設計されており、モノミニジャックの先端は+と定義されています。



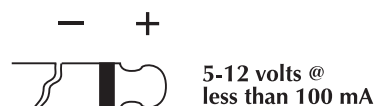
6 DCトリガー入出力端子

DCトリガー出力端子のあるプリアンプ機器等を本機に接続すると、接続したプリアンプ機器に連動して、本機の電源をオン/スタンバイにできます。

モノミニジャックを経由して、リモコンで本機のオン/スタンバイが切り替わります。

このジャックで制御電圧がパススルーし、本機に接続したプリアンプ機器を簡単にデイズチェーン接続できます。

DCトリガー端子はDC5V~12V/100mAに対応するように設計されており、モノミニジャックの先端は+と定義されています。



7 オートスタンバイ/Wake on Network(ウェイクオンネットワーク)

本機は省電力仕様です。製品を使用していない間は、消費電力を低減しています。

オートスタンバイがオンの状態で、約20分間入力信号がない場合には、自動的にスタンバイモードになります。

お買い上げ時の設定では、オートスタンバイ機能は無効になっています。

オートスタンバイを有効にするには、オート電源ボタンをオンにしてください。この時、ボタン隣のLEDが緑色に点灯します。

本機の電源がオンの場合にのみ、オートスタンバイ切り替えができます。

本機は、イーサネット、RS-232やCAN-Busインターフェースなどのネットワーク設定に対応します。

Wake on Network (ウェイクオンネットワーク)モード機能を無効にすれば、低電力スタンバイモードにできます。

尚、Wake on Network (ウェイクオンネットワーク)が無効では、RS-232、CAN-Bus制御は機能しません。フロントパネルの電源ボタンまたはDCトリガーで、本機をスタンバイ状態から起動させてください。

Wake on Network (ウェイクオンネットワーク)機能の状態の確認及び変更は、次の手順に従ってください。

電源コードを本機から抜き、10秒後に再び差し込みます。本機がスタンバイの状態、フロントパネルのVUメーター ライトを見ながらAuto.Standby(オートスタンバイ)ボタンを長押しします。

Wake on Network (ウェイク オン ネットワーク)は1回点滅すると無効、2回点滅すると有効になります。ボタンの長押しで有効と無効が切り替わります。

例えば、Wake on Network(ウェイクオンネットワーク)を有効にしたい場合、VUメーターライトが2回点滅した後、ボタンから指を離します。

8 USB端子

USB端子はファームウェアの更新のためUSBメモリーを接続するときに使用します。

9 イーサネット端子

(LANケーブルを使用して、)ホームネットワーク(LAN)に接続します。

DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol:ダイナミックホストコンフィギュレーション プロトコル)を機能を設定しているため、IPアドレスが自動的に割り当てられます。

固定IPアドレスを手動で割り当てる場合のみ、リアパネルに記載されているシリアル番号ラベルの本機MACアドレス情報を設定して下さい。

ファームウェアアップデートをおこなうときは、インターネットに接続できる環境と設定(Webブラウザ、ファームウェアファイル(*.bwu 拡張子))が必要です。

インターネットでウェブにアクセスするには、割り当てられたIPアドレスをブラウザのアドレスバーに入力設定してください。

ブロードバンドルーターをご使用の場合は、セットアップインターフェイスで接続済みデバイスを確認し、IPアドレスを設定します。

また、同じネットワーク上のモバイルデバイスをご使用の場合は、ネットワークスキャナーアプリでIPアドレスを設定します。

Webページが読み込まれたら、「ファームウェア」タブに表示される指示に従ってください。

10 ACインレット(AC IN)

付属の電源コードをリアパネルのACインレットに差し込み、電源プラグを家庭用のコンセントに差し込みます。

11 AC電源ヒューズ

本機のリアパネルには、AC電源ヒューズが付いています。

ヒューズが切れたことが疑われる場合、ACコード、入力ケーブル、スピーカーケーブルを本機から外し、トラブルシューティングを参照してください。

12 ICTunnel™排気口

インテリジェント冷却トンネルは、内蔵FANによりリアパネルの排気口を經由して本機を冷却します。冷却システムの動作を最適化するために、アンプのリアパネル周辺の障害物を取り除いてください。

換気に関する項目も参照してください。



危険!

AC電源から外されたときでも、本機本体には危険な電圧電流が流れています。筐体は空けずにClassé販売店にご相談ください。

設置

Classéアンプは簡単にセットアップして楽しむことができます。次の手順に従って設置してください。



重要:

他の接続機器の電源が入り安定した後、最後に本機の電源を入れることをおすすめします。
逆にシステムの電源をオフにするときには、最初に本機の電源をオフします。これは他の機器の電源をオフしたときのノイズなどが、スピーカーに影響を与えるのを防ぎます。

- 1. 本機を開梱します。**
本機はかなり重いので、開梱時は注意してください。
- 2. 本機を設置します。(必ず「開梱と設置」をお読みください)**
設置場所には、十分な換気があり、本機後方のワイヤーとワイヤーの間に十分な空間があることを確認します。
- 3. プリアンプ/プロセッサを接続します。**
接続ケーブルはなるべく高品質なものをお選びください。バランス接続やアンバランス接続の優れた特徴を発揮します。
プリアンプ/プロセッサを、バランス入力とアンバランス入力の両方に同時接続しないようご注意ください。
保証対象外の入力回路の損傷を招くおそれがあります。
確実に接続されていることを確認します。
- 4. スピーカーを接続します。**
スピーカーワイヤーは高品質なものを選び、本機出力端子はスピーカーの出力端子に(表示どおり)接続してください。

本機の黒端子(-)はスピーカーの黒端子(-)に、赤端子(+)はスピーカーの赤端子(+)に表示どおり接続してください。
バイワイヤリングの場合、各アンプチャンネルとそれに対応するスピーカーの間に4本のワイヤーを配線します。
+/-に分かれた低域ケーブルと中高域ケーブルを2つ別々に配線する方法です。
赤端子(+)と黒端子(-)の間でワイヤーが交差していないことを確認してください。

本機はコンタクト部の適正な締め付けトルクを守る、高品質なバインディングポストを採用して、締めすぎによる損傷を防いでいます。
カチッと音がするまで、バインディングポストを締めてスピーカーケーブルを固定します。
この音がすれば適切なトルクで接続されています。

5. **すべての接続を再確認します。**
接続が正しいかどうかをもう一度確認したら、電源コードをアンプに接続し、電源プラグをコンセントに差し込みます。
6. **システムの他のコンポーネントをすべてオンにしてから、本機をオンにします。**
他の接続機器の電源が入り安定した後、最後に本機の電源を入れることをおすすめします。
また、システムを停止するときには、最初に本機の電源からオフにします。
他の接続機器の電源をオン／オフした時に発生するノイズ等が、スピーカーに影響を与えることを防ぎます。

約10～15分で回路温度が安定しますので、本機を長時間オンにする必要はありません。
しばらく使用しない場合は、スタンバイ状態にします。

CAN-Busについて

CAN-Bus ClasséのコントローラエリアネットワークまたはCAN-Busにより、同様のバス機能を備えたClasséコンポーネント間の通信と操作が可能になります。

本機が他のCAN-Bus搭載Classéコンポーネントと接続すると、“global” ネットワークを形成します。

プリアンプ/プロセッサのタッチスクリーンでシステム全体のステータス情報配信機能や共有管理操作機能を利用できます。

ソフトウェア・アップデートについては、定期的にClasséウェブサイトでご確認ください。

機能 CAN-BusではClasséタッチスクリーンで次の機能に対応します。

- すべての接続ユニットのステータス情報を表示します(タッチスクリーンがないアンプを含む)。
- デルタシリーズのソース機器が再生を開始したとき、SSPまたはPreampが「PlayLink」に自動的に切り替ります。
- グローバル システムの明るさを調節します。
- ボタンへのタッチで、システム全体をオン/スタンバイにします。また、個々のコンポーネントをオン/スタンバイすることができます。
- 接続ユニットをミュートにします。

ハードウェアのセットアップ

- 1 Classé CAN-Bus搭載製品**
2台以上のClasséCAN-Bus搭載製品が必要です。少なくとも1台にはタッチスクリーンが必要です。
- 2 カテゴリ5ネットワークケーブル**
一般的なブロードバンドのインターネット 接続に広く使用されている「ストレート」ケーブルです。「クロスオーバー」タイプではありません。システム内のCAN-Bus搭載コンポーネントの数から1つ少ない本数のケーブルをご用意ください。これらのネットワークケーブルを使って、ディジーチェーンでコンポーネントを接続してください。
- 3 CAN-Busターミネーター**
CAN-Busターミネーターが1つ必要です。これをCAN-Busでディジーチェーン接続した最後のコンポーネントのCAN-Bus出力端子に取り付けてください。
本機に1本同梱されています。

CAN-Bus

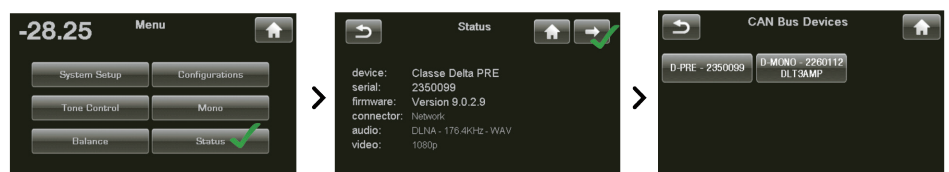
CAN-Busの操作は、何れのClassé製品のタッチスクリーンからでもおこなえます。

特にマスターになる製品を特定せず、タッチスクリーンを持つ製品であれば何れからでも、Classéシリーズのシステムをコントロールできます。まずは1つの製品でCAN-Busの操作を始めるのがわかりやすいでしょう。

CAN-BUSにアクセスするには、タッチスクリーン搭載ユニットのMENUボタンまたは、リモートコントロールのMENUボタンを押します。

MENU→STATUS→画面右上の右矢印の順に押します。

タッチスクリーンはCAN-Bus デバイス画面上に接続されているモデル名とシリアル番号を一覧表示します。



CAN-Busデバイス画面でユニットを選択すると、そのユニットがターゲットユニットとして識別されます。ターゲットユニットの前面LEDまたはメーターライトが点滅を開始します。(CAN-Busへのアクセスに使用しているユニットは除きます。)

ターゲットユニットを選択すると、タッチスクリーンは利用可能なCAN-Bus機能を一覧表示します。すべてのモデルで共有されるCAN-Bus機能もあれば、個別モデルに固有の機能もあります。

ユニットをスタンバイにする前に必ずCAN-Busページを終了してください。

終了されなかった場合、次に電源オンした時、以前に選択されたユニットの前面LEDが点滅します。

CAN-Busアンプの機能

本機では次のCAN-Bus機能を使用できます。
(下図参照。CAN-Bus機能は同じです。)



モデル名、ファームウェアバージョン番号は、ターゲットユニットのCAN-Busページに表示されます。

操作

Operate(操作)ボタンでターゲットユニットをオン/スタンバイすることができます。

タッチスクリーンでCAN-Busにアクセスするユニットに対して、このボタンは無効になっています。

ミュート	ミュート中は、接続ユニットの出力をミュートにします。
グローバルスタンバイ	<p>すべてのコンポーネントをグローバルスタンバイにすると、本機またはリモコンの電源ボタンを押して、システム全体をオン/スタンバイすることができます。</p> <p>すべてのCAN-Busソフトウェアのアップデートでは、アップデートした機器を自動的にグローバルスタンバイにします。特定の機器をグローバルスタンバイから解除したい場合には、その機器のグローバルスタンバイをオフにしてください。</p>
グローバルディム	<p>すべてのコンポーネントをGlobal Dim(グローバルディム)にすると、何れか1つのタッチスクリーンの明るさを変えるだけで、すべてのLEDの明るさを調節できます。</p> <p>すべてのCAN-Busソフトウェアのアップデートでは、アップデートした機器を自動的にGlobal Dimにします。特定の機器をGlobal Dimから解除したい場合には、Global Dimをオフにしてください。</p>
その他のステータス	<p>Other Status(その他のステータス)画面は、ターゲットユニットの内部温度センサーに関する情報です。ヒートシンク1と2の測定値は摂氏温度で表示されます。</p> <p><i>注記:この機能は、ターゲットアンプが操作モードである場合のみ利用できます。</i></p>
名称	本機モデル名の下に表示される name(名称) を設定し、大規模なシステムの中でもユニットを特定できるようにします。
イベントログ	<p>保護回路が動作したイベントを記録する機能です。ターゲットアンプがスタンバイ状態のときのみアクセスできます。</p> <p><i>注記:アンプをスタンバイ状態にするには、手動で本機のグローバルスタンバイを解除します。(ハイライト表示が消灯)。</i></p> <p>(何らかの原因で)オーバーヒート、または本機の出力でスピーカーが破損するなどの異常が起きたときに、保護回路が作動します。</p> <p>保護回路機能はログを記録します。Classé販売店へお問い合わせの際、イベントログをご活用ください。</p> <p>本機のイベントログは下記のとおり報告されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • DC出力の検出 — ソースからのDC電圧がアンプ回路の修正能力を超えています。本機をオフにしてスピーカーを保護します。 • 過電流の検出 — 出力端子の短絡等により、ピーク電流が安全動作の限界を超えました。 • CBE — 内部通信回路にエラーが発生しました。 • オーバーヒート — 内部温度が安全な動作限界を超えました。 • ファン不具合 — ファンが切断または、回転できません。

お手入れ

本機のキャビネットからほこりを取り除くには、羽ほうき、または糸くずの出ない柔らかい布でからぶきしてください。汚れや指紋を取り除くには、ディスプレイ画面の掃除に使用するようなマイクロファイバークロスや静電気防止レンズクリーナーを使用することをおすすめします。

ご注意:ペーパータオルは使用しないでください。メーターレンズの表面を傷つける可能性があります。



注意!

液体洗剤を直接本機につけないでください。ユニット内の電子部品が破損することがあります。

トラブルシューティング

本機が正しく動作しないときは、該当する症状に従ってチェックしてみてください。なお、どの症状にも該当しない場合は本機の故障とも考えられますので、お買い上げのClassé販売店にご相談ください。

1. スピーカーから音が出ない、ステイタスLEDが点灯しない。

- 電源コードが確実に電源コンセントに差し込まれていますか？AC電源がオフになって、ブレーカーが落ちているか、ヒューズが切れています。
- 停電または電源電圧の低下により、内蔵マイクロプロセッサのリセットを必要とする場合があります。30秒以上経ってから再度電源コードを接続し、電源をオンにしてください。
- AC電源のヒューズが切れています。以下のトラブルシューティング#4.を参照（またはClassé販売店までお問い合わせください）。
- 電源電圧を確認してください。（電源供給が正しくおこなわれていません。本機に供給している線間電圧を点検してください。）

2. 音がでない、ステイタスLEDは赤色に点滅している。

- 保護回路が動作しています。
- 電源ボタンを押したままにし、本機をリセットします。
- アンプがリセットされない、または保護回路が動作し続ける場合、速やかに電源をオフし、入力と出力の接続を抜いてください。
- AC電源のみ接続し、アンプの電源をオンします。ステイタスLEDが赤色に点滅し続ける場合、アンプが故障しています。電源コードを抜きClassé販売店に修理を依頼して下さい。
- 本機の電源が正常にオンした場合、初めに電源をオフにし、入力側のみ再接続します。
本機を再起動し異常が無い場合、スピーカーのリード線がショートしている可能性があります。電源コードを抜いて接続を確認してください。
初めに1つのチャンネルを接続した後、もう1つを接続し、明らかにショートしたリード線はないことを確認してください。もし、ショートがある場合はどのチャンネルがショートしているかを確認します。

3. 電源が入らない。

- アイドリング状態になって20分後にシャットダウンが生じる場合、オートスタンバイが起動している可能性があります。低信号レベルでは、本機が検出されない場合があり、スタンバイ状態に切り換わります。詳しくは、本書の「オートスタンバイ」に関するセクションをご覧ください。
- 本機は十分に換気され、周囲の室温は40°C以下であることを確認してください。
- 上記のトラブルシューティングに従ってチェックしてください(アンプが保護モードに入っているかもしれません)。
- 本機の保護回路で発生したイベントログは記録されません。CAN-Bus接続のタッチスクリーンでも見ることもできます。詳しくはClassé販売店にお問い合わせください。

4. AC電源のヒューズが切れている。

ヒューズが切れた場合、重大な問題が生じる場合があります。次の手順に従ってください。

入力ケーブルとの再接続が正常な場合には、本機をスタンバイにし、スピーカーワイヤーを再接続します。スピーカーワイヤーの両端にショートがなく、接続できたら、本機の電源をオンにします。これまでの動作がすべて正常の場合には、本機をAC電源の大電流から保護するため、元のヒューズが切断したのが原因と思われます。再ヒューズが切れる場合はClassé販売店にご連絡ください。

5. ステイタスLEDが赤色に点灯し、VUメーターが点滅する。

通常のスタンバイ手順に従っていない場合には、AC電源が突然切断し、オフになります。約30秒間VUメーターが点滅すると、AC電源がリセットされ、通常運転を再開します。

仕様

- **周波数レスポンス** 1 Hz～650kHz、-3dB
(50Ω電源インピーダンス)
- **連続出力** (純粋クラス-A動作) 12.5W / 8Ω
(1kHz 時、0.1% THD+N) 200W / 8Ω
(AC電源ラインを一定に保持した状態) 350W / 4Ω
- **高調波歪率** (バンド幅500kHz) <0.0016%、1kHz 時
(4Ωまたは8Ωで500kHz/25V_{rms}) <0.002%、10kHz 時
<0.003%、20kHz 時
- **高調波歪み** (バンド幅90kHz) <0.0007%、1kHz 時
(4Ωまたは8Ωで90kHz/25V_{rms}) <0.001%、10kHz 時
<0.0025%、20kHz 時
- **ピーク出力電圧** (無負荷) 126Vピークトゥピーク、40V_{rms}
(公称 AC 電源ライン) (8Ω負荷) 114Vピークトゥピーク、40V_{rms}
- **入力インピーダンス** (バランス/アンバランス) 82kΩ
- **電圧ゲイン** (1kHz時、バランス/アンバランス) 29.2dB
- **入力レベル** (バランス/アンバランス) 1.38V_{rms}
- **相互変調歪み** SMPTE 4:1 <0.0018%
(4Ωまたは8Ω、バランス/アンバランス) CCIF <0.004%
- **SN比** 117dB
(バンド幅22kHz、1.84V_{rms}入力時) (A特性) 119dB
- **出力インピーダンス** 0.009Ω / 0.009Ω / 0.012Ω
(100 Hz / 1 kHz / 10 kHz)
- **スルーレート** 75V/μs
- **クロストーク** 124dB / 107dB / 90dB
(250W/8Ωで1チャンネル駆動時) (100 Hz / 1 kHz / 10 kHz)
- **ダンピングファクター** (1kHz時、8Ω基準負荷) 850
- **待機時消費電力** (Wake-on-Network(WoN)オフ*) 0.2W
(* AC適用後20分) (Wake-on-Network(WoN)オン) 2.8W
- **消費電力** 定格 (4Ω、1/8出力) 7.1A / 850VA (570W)
定格 (8Ω、1/8出力) 535VA (355W)
最高出力(300W/8Ω) 990VA (715W)
- **電源** 100V～ 50/60Hz

注記:電源電圧については、リアパネルをご覧ください

■ 動作温度	10~35 °C
■ 全体寸法	幅:444mm 奥行き:492mm (接続端子を含む) 高さ:222mm (フット部を含む)
■ 本体重量	46.3kg
■ 梱包重量	52.7kg

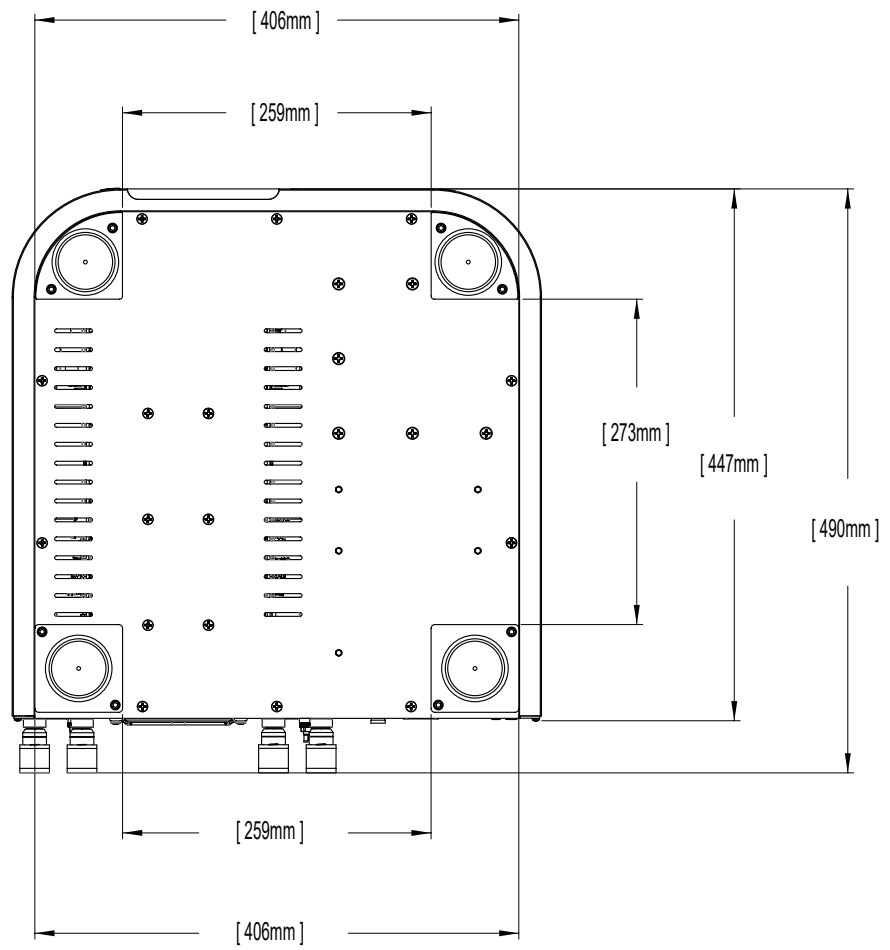
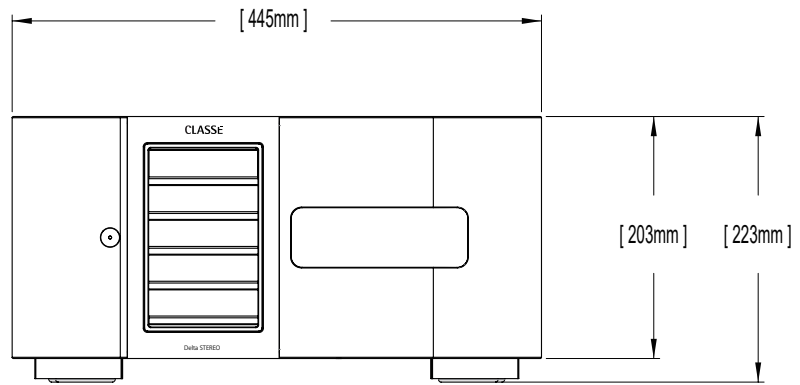
詳細は、Classé販売店までご確認ください。次の本社窓口にお問い合わせください。

Sound United, LLC
One Viper Way
Vista, CA 92081
United States
<https://classeaudio.com>

Classé製品のご質問について
日本国内の場合、Sound Unitedグループの株式会社ディーアンドエムホールディングスがサポートいたします。
営業日:月曜日~金曜日
受付時間: 10:00~18:00
お客様相談センター:0570-666-112または050-3388-6801

ClasséとClasséロゴは、Sound United, LLCの商標です。全著作権所有。
AMX®は、テキサス州リチャードソンのAMX Corporationの登録商標です。全著作権所有。
Crestron™は、ニュージャージー州ロックリーのCrestron Electronics, Inc.の商標です。全著作権所有。
Control 4™はユタ州ソルトレイクシティのControl 4 Corporationの商標です。全著作権所有。

寸法



CLASSÉ

Classé
380, rue McArthur
Saint-Laurent, Québec
H4T 1X8 CANADA

Classé製品のご質問について
営業日:月曜日～金曜日(祝祭日、弊社休日を除く)
受付時間: 10:00~18:00

お客様ご相談センター:0570-666-112 または 050-3388-6801
<https://dm-importaudio.jp/>